



四 気 折 々

川越町立川越中学校
学校だより第42号
令和5年1月10日
第3学期 始業式

四気＝川越中学校訓「やる気 ほん気 こん気 げん気」

学校教育目標『自立した生徒の育成 ー自律・調和・創造ー』のもと

- ・自分を大切にすること
 - ・他者を大切にすること
 - ・粘り強くやり切る
 - ・人を大切にすること
 - ・安全で安心できる
 - ・地域や保護者とともにある
- 生徒 学校 づくりを目指します

第3学期の始業式にあたり・・・

『粘り強くやり切る生徒(集団)』『仲間とともに授業を大切に、授業を頑張る生徒(集団)』という考え方について。令和4年度のまとめとして、そして、令和5年度につなぐことを目的として、「仲間と関わり合う」ことを通して、一人ひとりが成長を続け、自分と仲間・クラス・学年としての成長を確かめ、新しい学年に向けて川越中学校みんなで、今を精一杯に頑張ろう！

【第3学期 始業式での校長のこたばより】

(1)『粘り強くやり切る生徒(集団)』という考え方について

学校だより第3号では、「かわごえ・まなびのコンパス」に記載されている川越町教育基本方針を紹介。『豊かな心』を土台とした学校教育、社会教育を推進しています。その中でも『豊かな心』を培うために必要なことは次の3つです。

- ① 非認知能力を高めること・・・「意欲・自制心・誠実さ・思いやり・優しさ・協調性・**やり切る力**」などのことをいい、人間の個性や心の面であったり内面的な、数値や点数で測れないことをいいます。
※「認知能力」とは「知識・技能」にあたる部分のことで、学力テスト等で測れるもの
- ② 個性を大切にすること(自分を大切にすること)
- ③ 相手の個性を尊重すること(相手を、他者を大切にすること)

川越中学校「学校教育ビジョン」では、教育目標の一つに、『粘り強くやり切る生徒』という大切にしたい柱があります。よく、こんな言葉を耳にします。「うちの子は、苦手なことだと、すぐにあきらめてしまう」「なかなか我慢することができない」など・・・。
『持続力(粘り強くやり切る力)』の低い子どもは、もともと持続力が低いとか、あきらめがちな性格だからとかではなく『粘り強くやり切った経験』や『最後まであきらめずに頑張った経験』が不足しているからだと思います。言い換えれば、『粘り強くやり切った経験』や『最後まであきらめずに頑張った経験』を積み重ねれば、『自分はやり切ることができる』と感じ、『持続力(粘り強くやり切る力)』がついていき、向上させることができると思います。川越中学校では1・2学期の授業においても、行事においても、部活動においても、このような経験を積み重ねることを大切にしてきました。この積み重ねてきたことを3学期も着実に継続していきたいと思っています。川越中学校のみなさんは、真面目に一生懸命に頑張る生徒ばかりです。しかし、『粘り強くやりきる力』は、今のみなさんには絶対に必要な力であり、自分を磨き、高めていく上においても必須な力だと思います。

(2) 基本に戻る。『仲間とともに授業を大切に。授業で頑張る生徒(集団)』という考え方について

3学期は1年間のまとめの時期でもあり、新しい学年、3年生のみなさんであれば新しい学校等での生活につなぐ意味でも大切な学期となります。みなさんの2学期の振り返りを見ても、学習・授業についての内容が圧倒的に多かったように思います。それだけ、誰もが大切に思っている内容だと思います。1学期から大切にしてきた「仲間づくり」。「仲間と関わること」。この積み重ねを大切にしながら、『仲間とともに授業を大切に。授業で頑張る生徒(集団)』となっていくことを願っています。誰もが『安心・安全』なクラスや学年ということは、誰にとってもクラスや学年が『居場所があり、あたたかく、居心地のよい場所』であるとともに、授業に一生懸命に頑張っている人がしっかりと認められ、授業を落ち着いて取り組める雰囲気があるということだと考えます。だからこそ、3学期のスタートにあたり、『基本に戻る』意味でも、授業への取り組みを2学期を振り返ることから、3学期につなげ、活かしてほしいと思います。充実した授業への取り組みから、『家庭学習』にもつなげてほしいと思います。クラスの大切な仲間とともに、どんどん声を掛け合い、教え合い、学び合いを通して、『仲間とともに授業を大切に。授業で頑張る生徒(集団)』へと高め合っていくことを期待しています。そして、新しい学年、新しい学校等の生活へつなぐ。そんな3学期にしていきたいと思います！

川越中学校3年生生徒による『学習習慣・生活習慣アンケート』の結果から・・・ このアンケート結果から、みなさんは、どう考えますか？今の自分と比較して。

2学期末の12月、川越町教育委員会学校教育課が主体となって、現中学校3年生のみなさんを対象としての「学習習慣・生活習慣アンケート」をGoogleformにて以下に記すアンケートに答えてもらいました。このアンケートの質問項目は、3年

生のみなさんが、4月19日(火)に実施した『令和4年度全国学力・学習状況調査』による、『生徒質問紙による生活調査(アンケート)』と同様の内容で、12月に実施した結果です。この結果の分析や、アンケート調査結果の内容は、学校だより第27号(令和4年10月27日付)でも紹介しています。本日の学校だよりでは、現3年生の4月のアンケート結果と、今回12月に実施したアンケート結果を対比しながら紹介します。3年生のみなさんに向けて紹介するだけでなく、現2年生、1年生のみなさんにも、しっかりと考えてもらいたい内容であり、今の自分の生活を振り返りながら考えてほしい内容です。

◆【表の見方】全国学調とは川越中学校の現3年生4月19日の全国学力・学習状況調査時のアンケート結果より

◆【表の見方】町調査とは川越中学校の現3年生12月23日までに実施した川越町学校教育課独自のアンケート結果より

学習習慣・生活習慣調査結果【川越中学校】

①家で自分で計画を立てて勉強していますか（学校の授業の予習や復習を含む）

	全国学調	町調査（12月）
よくしている	18.1%	32.8%
ときどきしている	54.3%	57.4%
あまりしていない	20.7%	8.2%
全くしていない	6.9%	1.6%

②学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

	全国学調	町調査（12月）
3時間以上	6.0%	29.5%
2時間以上、3時間より少ない	25.9%	41.0%
1時間以上、2時間より少ない	39.7%	21.3%
30分以上、1時間より少ない	16.4%	4.9%
30分より少ない	9.5%	1.6%
全くしない	2.6%	1.6%

③土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

	全国学調	町調査（12月）
4時間以上	4.3%	37.7%
3時間以上、4時間より少ない	12.9%	24.6%
2時間以上、3時間より少ない	28.4%	26.2%
1時間以上、2時間より少ない	30.2%	8.2%
1時間より少ない	18.1%	0.0%
全くしない	6.0%	3.3%

④普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか

	全国学調	町調査（12月）
4時間以上	11.2%	9.8%
3時間以上、4時間より少ない	15.5%	8.2%
2時間以上、3時間より少ない	28.4%	19.7%
1時間以上、2時間より少ない	23.3%	24.6%
1時間より少ない	16.4%	18.0%
全くしない	5.2%	19.7%

⑤普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）

	全国学調	町調査（12月）
4時間以上	5.2%	9.8%
3時間以上、4時間より少ない	20.7%	13.1%
2時間以上、3時間より少ない	26.7%	32.8%
1時間以上、2時間より少ない	25.9%	29.5%
30分以上、1時間より少ない	13.8%	9.8%
30分より少ない	6.0%	1.6%
携帯電話やスマートフォンを持っていない	1.7%	3.3%

⑥学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を行いますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

	全国学調	町調査（12月）
2時間以上	2.6%	4.9%
1時間以上、2時間より少ない	10.3%	3.3%
30分以上、1時間より少ない	16.4%	21.3%
10分以上、30分より少ない	22.4%	21.3%
10分より少ない	12.9%	18.0%
全くしない	35.3%	31.1%

◆3年生のみなさん、12月のアンケート調査への協力ありがとうございました！このアンケートを実施した目的は、3年生のみなさんを対象とはしていますが、今の2年生・1年生にも必ず参考となる、そしてこれからの自分自身の指標（物事を判断したり、評価したり、目標としたり、自身のこれからの基準へとつながること）につなげてもらえたら嬉しいです。結果は、高校入試を直前に控えた3年生だから当然の結果でしょうか？！このアンケート結果の受け止め方や考え方は、一人ひとり違うかもしれません。3年生のみなさんの4月実施の「全国学力・学習状況調査」の結果は、次のように表れています。

令和4年度	川越中学校の結果から（全体の傾向）：		
		「正答率が低い生徒が少なく、中位よりやや上位の生徒が多い。」	
	国語	「正答率が低い生徒は少なく、全体的に正答率が高い。」	
	数学	「正答率の中位から上位の生徒が多い。」	
	理科	「正答率の中位からやや上位の生徒が多い。」	

もし4月の時点で、12月調査のアンケート結果のような数値だったら、結果はどうだったでしょうか？

毎日の学校で授業以外に、平日（月から金まで）の家庭学習時間が2時間以上の生徒は「約75%（4月は、約32%）」。
 土日や学校が休日の日の1日の家庭学習時間が3時間以上の生徒は「約62%（4月は約17%）」。
 4月は部活動もあり、まだまだ進路選択も先のことだと思っていたのかもしれませんが、もし、今の家庭学習時間を4月から実践することができていたらどうだったのでしょうか？決して不可能な数値ではなかったと、客観的に見てそのような思いを持ててしまいます。また、課題としては、12月段階でのスマホ等でのSNSや動画視聴の平日の時間帯が4時間以上と2時間以上の使用人数が増加していること（休息の時間としての活用も必要かもしれませんが・・・）。いかがでしょうか？

しかし、現3年生のみなさんの強みは次の項目にも表れています。『家で自分で計画を立てて勉強をしていますか』という問いに対して、4月段階で「72%が自分で計画を立てて勉強をしている（全国平均69%）」であり、12月調査では「90%が自分で計画を立てて勉強をしている」となっていることです。この結果からも、3年生のみなさんの「今」が見えてくると思います。以上の結果から3年生のみなさんはもとより2年生・1年生のみなさんが「どう考えることができるか」「先のことではなくどう自分事として受け止めることができるのか」が大切です。